

## ユーラシアの経済回廊へのモンゴルの結合

モンゴル道路交通開発省政策企画部シニアオフィサー

D. ゲレルニヤム

## 北東アジアにおけるモンゴルの位置づけ

昨今、地域協力が進展しており、モンゴルはその中に自らの居場所を得ているが、これはモンゴルが中国とロシアという大国の間にあるという地理的な理由からだけではない。モンゴルの地政学的な特徴や二つの隣国との経済関係といった面から、多くの国々がモンゴル自体に対する関心を高めていることもその理由である。

モンゴルは、地域諸国が推進している様々なイニシアチブを支持すると同時に、これらを結び付けるために、積極的に「草原の道」イニシアチブを打ち出した。「草原の道」イニシアチブは、5種類の通路（自動車道、鉄道、送電線、ガスパイプライン、石油パイプライン）からなる。このモンゴルのイニシアチブは、以下の各面で科学的研究に基づいたものでなくてはならない。

- モンゴル、中国、ロシアの国境検問所、道路、鉄道のインフラ計画。国際貨物、交通の流れの調査研究
- 経済回廊イニシアチブの下で2020年に至る、道路、鉄道の輸送能力の確定
- 経済回廊イニシアチブの下での交通網整備のための体制づくりに向けた調査・計画業務の実施
- 中国の「一帯一路」およびロシアのユーラシア横断輸送回廊への参加方法の決定

こうした調査研究の結果により、モンゴルが受けるであろう変化や経済水準が明確になるだろう。大図們江イニシアチブの下での輸送網の発展により、貿易や観光など多くの産業に便益がもたらされるだろう。さらに、日本とモンゴルの経済連携協定によって、モンゴルにはより多くの機会がもたらされる。一言で言えば、モンゴルは北東アジアの中心にあり、アジアとヨーロッパを結ぶ経済的な橋となっている。

## 経済回廊

モンゴルは、2016年に中国、ロシアとの3者の輸送協定に調印した。モンゴルは、これまでも3者での協力を目指してきた。政治面に比べると、経済面ではさほど成功していない。地域におけるモンゴルの役割は重要であるが、今後の道筋を明らかにするには詳細な研究を行う必要がある。

2016年に、3者による経済回廊プログラムが承認された。貿易及び輸送のネットワークは、国際経済連携のカギである。調査・計画業務の成果は、輸送ネットワーク政策、プロジェクトの優先順位づけ、経済協力政策のカギとなるはずだ。政府機関は、調査結果を受け入れるだろう。主要プロジェクトの優先順位づけは、効率的な投資管理に役立つであろうし、輸送関連プロジェクトは他の主要経済分野により多くの影響を及ぼすだろう。モンゴルの地域発展を支えることにもなる。そこで、我々は、皆様の豊富な経験を基礎として国際研究所を設立できるのではないかと、あるいはERINAと協力しながら多国間共同研究を実施できるのではないかと考える。持続可能な発展や地域経済発展の統合などに寄与しうるプロジェクトには、私自身、個人的にもぜひ参加したいと考えるし、わが省が参加できるようにも努力したい。

[ERINAにて翻訳]